

コミュニティ・スクールとは？

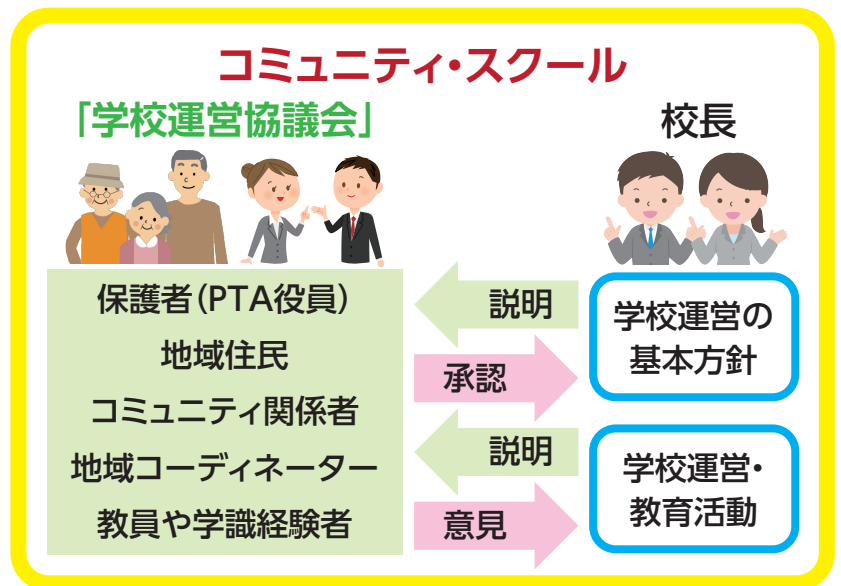
保護者や地域のニーズを学校に反映させるため、地域住民が学校運営に参画できる仕組みを整えた学校のことです。令和3年度からは、市内すべての公立小学校・中学校がコミュニティ・スクールになります。各学校には、「学校運営協議会」が設置されます。

学校運営協議会とは？

学校と保護者や地域住民が、学校の運営に関して話し合う場です。「どんな学校にするのか？」「どんな子どもを育てるのか？」といった目標を話し合って決め、同じ目標に向かって「子どもたちのために、どんな活動ができるのか？」「学校のために自分たちにできることは何か？」などを考えます。

学校運営協議会の主な役割

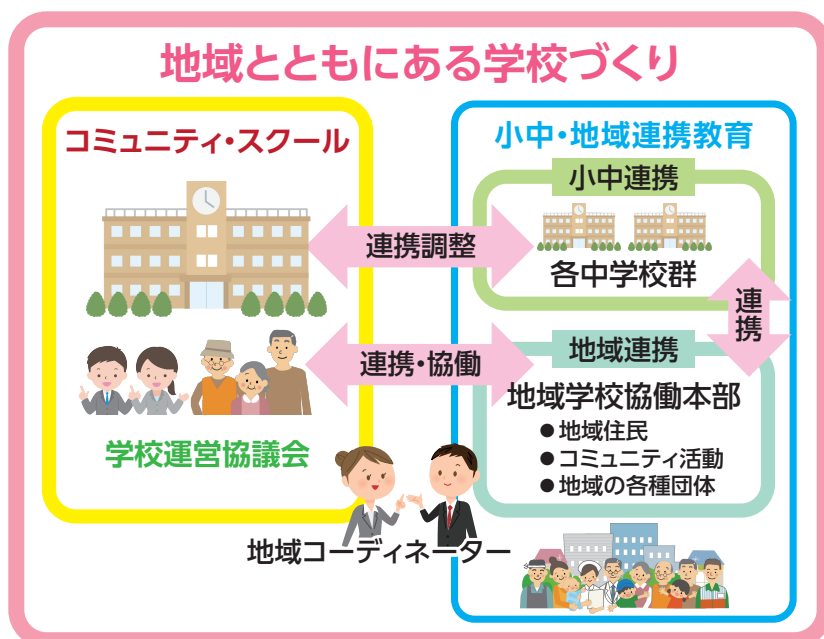
- ①学校目標や行事の基本的な内容・計画を、校長の提案をもとに、話し合って決めます。
- ②決まったことを実際に進める上で、校長や教育委員会に意見を述べるすることができます。
- ③学校をよりよくするためにどんな先生が必要か、校長や教育委員会に意見を述べるすることができます。



コミュニティ・スクールを導入するメリット

- 地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現できる
- 学校の現状や運営方針の理解が深まり、保護者や地域との連携・協働の推進が期待できる
- 学校は、保護者・地域住民の適切な役割分担により、子どもと向き合う時間を確保できる
- 子どもたちは、大人に認められる経験を重ねることで、自分に自信が持てる
- 大人同士が関わり、つながり、広がることで、安心・安全な地域づくりにつながる

地域とともにある学校づくり



目指す子どもの姿

丸亀市は、これまで「中学校教員による小学生への授業」「児童・生徒のコミュニティまつりへの参加」などの「小中・地域連携教育」を進めてきました。

今後はこれまでの取り組みに加えて、「学校運営協議会」で、保護者や地域の人、教員が同じ目標やビジョンをもち、役割を分担しながら一緒に活動していくことで、「地域よさを知り、地域に愛着や誇りをもつ子どもたち」を育てていきます。